

「土砂災害防止について」

三豊市立桑山小学校 3年 筒井 琥央 さん

土砂災害とは、大雨で地面がゆるみ山やがけがくずれたり、くずれた土砂が雨水や川の水とまじってながれてきたりして、人の命がうばわれたりたて物をおしつぶしたりする災害のことです。

ぼくのおじさんは、えひめけんまつ山市に住んでいます。7月12日の午前4時前、まつ山じょうがある山のしゃ面がはば50メートル、高さ100メートルにわたってくずれおち、ふく数の住たくやマンションに土砂がながれこみました。このニュースを聞いた時、ぼくはおじさんのことを心配しました。だけど、7月27日電話したら、大じょうぶだと言ってくれました。ぼくは、とても安心しました。

この土砂災害のニュースで、災害はとても身近な出来事になってきたと思います。だから、いざというときのために日ごろから災害にそなえることが大切です。前もってひなん所をかくにんしたり、地いきのあぶないところをハザードマップでチェックすることが大事だと思います。自分の家の場所や電話番号もおぼえておこうと思います。あと、ひなんするときには、高い場所やコンクリートでできているマンションのじょうぶなたて物の2かい上のにげるようにしたいです。次に、ひなんをするタイミングがみんなにはっきり分かるように5だんかいのけいかいレベルを発表しています。とくにじゅうようなのは、けいかいレベルの3と4です。けいかいレベル3はお年よりやからだのふじゆうな人はひなんをはじめよう。それいがいの人も、いつでもすぐにひなんできるようにじゅんびしておくことが大切です。けいかいレベル4はお年よりにかぎらず全員が安全な所にひなんする合図です。その上のレベル5は土砂災害がおこってしまっていて、手おくれかもしれないのでそうなる前のけいかいレベル3と4がひなんをするタイミングになります。

ひなんをする時にひなんグッズをわすれないよう日ごろからじゅんびしておくことが大切です。のみ水、食りょう、ケータイ、きちょう品、くすりやタオル、ヘルメット、かい中電とうなどです。

災害たいさくは、人まかせではなく命を守るために、今できることからはじめたいです。